2017年4月 加藤厚

— 無料のポータブルツールにこだわりながら Windows を中心に —



Reading is dreaming with open eyes.



目次

01	『青空文庫』再訪・・・・・・・・・・・・・・
02	作品ファイルのダウンロード(DL)と展開・・・・・・・ 3
03	テキストファイルの閲読 tool-1: PageOne ・・・・・・・・
04	テキストファイルの閲読 tool-2: TxtMiru2 ・・・・・・・
05	テキストファイルの閲読 tool-3: OyaziViewer・・・・・・・9
06	XHTML ファイルでどこでも「縦書」閲読・・・・・・・1
07	様々な端末・方法で楽しむ『青空文庫』・・・・・・・1
80	『青空文庫』の書式で本を作成 ・・・・・・・・・1
09	固定レイアウトの PDF で本を作成 ・・・・・・・・1
10	ポータブルツールでも PDF 出力は可能 ・・・・・・・・1
11	PDF の見開き閲読-1: Kinoppy ・・・・・・・・・・2
12	PDF の見開き閲読-2: SumatraPDF・・・・・・・・2
13	「作品」のアップロード(UL)と紹介 ・・・・・・・・2
14	PDF の画像化と圧縮: PDF-XChange Viewer Portable ・・・・・ 2
15	画像を圧縮した書庫ファイルの閲読: ZipPla ・・・・・・・2
	【囲み記事】 電子書籍ストアについて p. 4 Kinoppy の使い方 p.10 SumatraPDF の使い方 p.16 [送る]への選択肢の追加 p.18 PDF 出力で link が正しく設定されない場合には・・ p.30

A 5 判見開きでの閲読を想定して作成した本冊子の内容は、筆者が Windows 7 を 0S とする PC 上で確認した結果をまとめたものです。お気づきの点などありましたら atsushi. kato. 1958@gmail. com までお知らせ頂ければ嬉しく思います。

【用語集】

ダウン/アップロード:サーバーから PC などに/逆方向にファイルを転送すること

ポータブルツール: USB メモリなどで持ち運べるプログラム

クリップボード への/からの

[Ctrl]+・・: [Ctrl]キーを押しながら他のキーを押すこと(例: [C]=copy、[V]=paste)

azw/azw3:アマゾンの Kindle 専用の電子書籍フォーマット(形式)

CSS(Cascading Style Sheets): HTML の「表示方法」を指示する仕様の 1 つ

D&D(Drag & Drop): 押さえながら移動した対象を特定の場所で離すこと

ePub: 国際電子出版フォーラムが策定した電子書籍フォーマット

jpg:静止画の非可逆圧縮フォーマット(圧縮率を高くするとノイズが目立つ)

PDF(Portable Document Format): ISO の標準フォーマット(アドビシステムズが公開)

png:静止画の**可逆圧縮**フォーマット(ノイズは生じないがファイルサイズは大きめ)

rar: zip と同様のアーカイブ(書庫)フォーマット(OS の標準対応なし)

XHTML(Extensible HTML): XML(Extensible Markup Language)で再定義した HTML

zip:複数ファイルを1ファイルに収めるフォーマット(多くの OS が標準対応)







01 『青空文庫』再訪

みち お

1997年に富田倫生さん(1952-2013)たちの呼びかけで始まった『青空 文庫』については、以下のような印象を持っている皆さんも多いかも しれません:

- ①文学作品がほとんど
- ②昔の作品ばかり
- ③「横書き&行間無し」で読みにくい
- ①については、現在(2017年3月)の「分野別リスト」でも「文学」が 12380 件と全体(14110件)の約8割を占めています。

http://yozora.main.jp/

しかし、見方を変えれば「芸術・美術」分野で 1000 以上、「社会科学」 分野で 700 近くの作品が読めるのも事実です。

- ②については、「著作権者の許諾」に基づいて閲読できる「より新 しい作品」も 280 あります(トップ頁下部の「運営について」の下を参照)。
- ③についても、新書や文庫のような「縦書&広めの行間」で読める 機能※がほとんどの作品に備えられています。
- ※株式会社ボイジャーが 2013 年 10 月に提供した「青空 in Browsers」 https://aozora.binb.jp/
- 一例として、分野別リスト>自然科学>医学>衛生学・・と辿り「栄養学小史」の備考:の[青空 in Browsers]をクリックしてみてください。図1に示したような「内容が比較的新しく※、書式も読みやすい、栄養学に関する作品」が楽しめます。
- ※壊血病の原因やタンパク質の機能の追究からサプリメントやダイエットの効果 に渡ります。

ただし、この機能による閲読は"ネット接続中"が前提です。Offline (非接続状態)で同様の閲読をする方法は次節以降紹介していきます。

	nttp://ac	zora.bi	inb.jp/reader	D + ¢	☑ 栄養学小史	×				ŵ
くとも部分	録を比較した	性の違いを除	死亡率と飽	表 6 40 ~			飽和脂 のエネ (%	ルギー		あたりの 心疾患
的に食事がる	1 7 4 8 0 0	余くためこ、止の疫学的な	和脂肪による	59歳男子の1	アメリカ(北西部) フィンランド オランダ	北米-北欧	18 20.5 19	19*	425 475 320	407*
アメリカ的に)。ある調査で	くたわこ、毎外多主者と多主しなかの疫学的研究があり、その内あるも		の10年間の虚血	イタリー ユーゴースラヴィア ギリシャ	地中海地域	10 12 7.5	10*	200 150 75	142*
なった	ではカー	と多ま	。キーズ	性心疾	日本		3		60	
くとも部分的に食事がアメリカ的になった日本人の虚血性心疾患(I	ある調査ではカリフォルニアに移住して少ない。	141多主しよいった人たらの建策記その内あるものは人種による罹患	- ズ, 1980(73)より再計算	の虚血性心疾患(IHD)による国別の	* 2地域(北米-北区	次と地中海)の平均値				

図1 [青空 in Browsers]で開いた『栄養学小史』※

※底本:Kenneth J. Carpenter, "A Short History of Nutritional Science" (J.Nutr. 2003) 2016(平成 28)年1月5日青空文庫版公開 翻訳者:水上茂樹

02 作品ファイルのダウンロード(DL)と展開

『青空文庫』※では各作品の内容がファイルで提供されており、それらをダウンロード(DL) すれば offline で閲読できます。

※全般的な解説は「青空文庫早わかり」↓を参照してください。

http://www.aozora.gr.jp/guide/aozora_bunko_hayawakari.html

「早わかり」の中ほどの【ファイルを選ぶ】にあるように、各作品の図書カードの「ファイルのダウンロード」をクリックするとDLできるファイルが示されます。

前節の例の「栄養学小史」※では[テキストファイル(ルビなし)]と [XHTMLファイル]があるので、今回はテキストファイルをDLします (XHTMLファイルは本文のみ=画像なし)。

[ファイル名(リンク)]の下の57318_txt_58138.zipを右クリックし、[対象をファイルに保存]/[名前を付けてリンク先を保存](←表現はブラウザによって異なります)などの項目を選び、自分にわかりやすいファイル名を指定してzipファイルをPCなどに保存しましょう。

※「栄養学小史」の「図書カード」

http://www.aozora.gr.jp/cards/001841/card57318.html#download

保存された zip ファイルをWクリックすると内容※がデスクトップの"ファイル名のフォルダ"内に展開されます。

※eiyogaku_shoshi.txt(本文)と fig57318_01.png~fig57318_28.png(画像)

フォルダは(図2のように)デスクトップから適切な場所にD&Dで移動しておきましょう。

これで data は揃いました。これらの楽しみ方について次節以降紹介していきます。

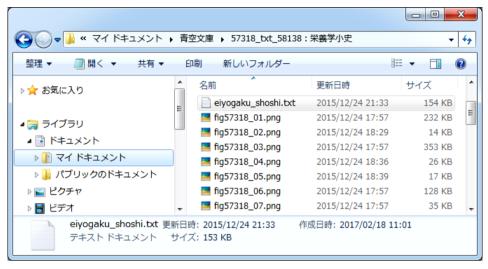


図2 zip ファイルの展開後にマイ ドキュメントに移動したフォルダの内容

電子書籍ストアについて

本冊子では言及しませんが、特に 2010 年以降、多くのストアが新規 に参入し、またそのサービスを終了してきました。

その「現状」については yamakai さんの「電子書籍ストアまとめ」 http://www7b.biglobe.ne.jp/~yama88/pla_2.html

eBook Brain さんの「電子書籍の購入ストア徹底比較(2017)」

http://ebookbrain.net/ebook-store-for-castomer/

などを参照してください。

03 テキストファイルの閲読 tool-1: PageOne



「青空文庫の XHTML, TEXT の読み方」では、以下の順に閲読 tool などが紹介されています。 \downarrow

http://www.aozora.gr.jp/readingTEXT/index.html

- ①えあ草紙
- ②Chrome の拡張機能:青空縦書きリーダー、縦書青空, etc.
- ③テキストビューワー: PageOne, AIR 草紙, etc.
- ①の「えあ草紙」は要 online、②の拡張機能※は XHTML 用なので今回は「対象外」です。
- %加えて、これらは Chrome 最新版(ver.56)には非対応(←加藤が試した限り動きません)。
- ③の AIR 草紙※は Windows, Mac, Linux の全てで作動しますが、まず Adobe AIR をインストールした上でさらに AIR 草紙をインストール する必要があるなど「簡単に楽しむ」とは言いにくいのが難点です。
- ※佐藤和彦さんご提供の汎用電子書籍リーダー(p.11 の 06 第一段落も参照) http://www.satokazzz.com/airzoshi-desktop

対照的に PageOne ※は pageone 330. zip を展開したフォルダ内の PageOne. exe をWクリックすれば起動します#。

http://www2u.biglobe.ne.jp/~shunbook/omocha/pageone.htm

http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/util/se442099.html

- ※笹 哲彰さんご提供の青空文庫ビューア(Windows でのみ作動)。
- # このような「インストール不要」の tool を"ポータブル"といいます。 [送る]を利用した起動法については 12(pp.23-24)の後半及び p.18 の図 12 -0 を参照してください。

起動した窓の中に eiyogaku_shoshi. txt をD&Dすれば、図3のような形式※での閲読が可能です。

とも部分的に食事がアメリカ的になった日本人の虚血性心疾患録を比較した(140)。 ある調査ではカリフォルニアに移住して性の違いを除くために、海外移住者と移住しなかった人たちの!さらに沢山の疫学的研究があり、その内あるものは人種によ	死亡率と飽和脂肪によるエネルギー。表6 40~9歳男子の10年間の虚血点			飽和脂のエネ	ルギー		5たりの :心疾患
メカに、開研	る 10 年			(9	(o)		
りょる 海 先が	エ 年 ネ 間	アメリカ(北西部)		18		425	
がりまれる	ルの	フィンランド	北米-北欧	20.5	19*	475	407*
登で 住妻り、	ギ虚	オランダ		19		320	
はカーとなった。そこ	11:	イタリー		10		200	
たり移の	キ心佐	ユーゴースラヴィア	地中海地域	12	10*	150	142*
フォークを	・心疾患	ギリシャ		7.5		75	
った日本人の虚血と移住しなかったと移住しなかった	1980 H	日本		3		60	
バリカ的になった日本人の虚血性心疾患(ⅠHある調査ではカリフォルニアに移住して少なく海外移住者と移住しなかった人たちの健康記録先があり、その内あるものは人種による罹患	0(73)より再計算HD)による国別の	* 2地域(北米-北欧	と地中海)の平均値				
	139/14	6				- 🕞	1 2 3 4

図3 ポータブルツール PageOne による本文と画像の表示

※表示>ページデザイン>基本設定で、注記のチェックを外し、ボタンの大きさ×1、画像拡大率80%。画像注記オプションで「常に行間表示にする」を選択。

04 テキストファイルの閲読 tool-2: TxtMiru2



前節で紹介した PageOne はすばらしい tool ですが、以下のように感じる場合があるかもしれません:

- ①「頁めくり」の効果が味気ない。
- ②「キャプション(表題)」の書式が本文と同じでは紛らわしい。
- ③Windows 以外、つまり Mac やタブレット、スマホでも読みたい。

①の「頁めくり」にコダワリたいなら TxtMiru2※がオススメです。 http://www.vector.co.jp/magazine/softnews/120229/n1202291.html http://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se485708.html?ds

※gears さんご提供の青空文庫ビューア(Windows でのみ作動)

PageOne と同様、DLした TxtMiru2. 0. zip を展開したフォルダ内のTxtMiru2. exe のWクリックで起動します。

起動した窓の中に eiyogaku_shoshi. txt をD&Dしたら[←]キーなどを押してみましょう※(別の起動法については 12 の後半参照)。

※ツール> 設定> 背景画像の background.png が「左頁明・右頁暗」なので、図4では自作の「両頁明」の画像を背景にしています。

ただし、TxtMiru2では「表題の書式が本文と同じ」という問題点は 残り、さらに「画像とその表題が離れて表示される」という新たな問 題が発生します。また「汎用性不足」という問題点は残ったままです。

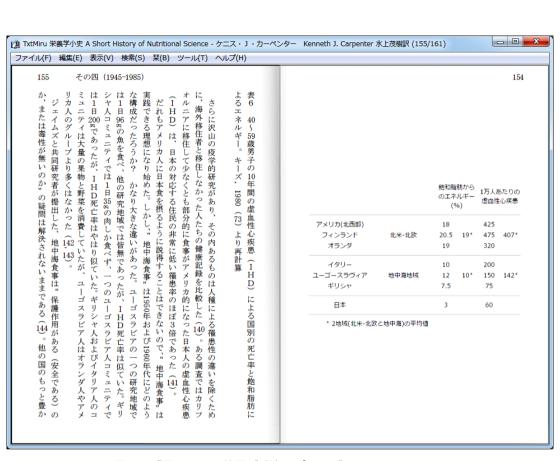


図4 「頁めくり」効果が秀逸なポータブルツール TxtMiru2

05 テキストファイルの閲読 tool-3: OyaziViewer



表題を本文とは異なる書式で画像のそばに示したいなら、オススメは OvaziViewer です※。

http://www001.upp.so-net.ne.jp/OyaziViewer/

http://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se511187.html

※Martinstag さんご提供の青空文庫ビューア(ポータブル&Windows のみ対応)。 ちなみに、初期状態の OyaziViewer では左クリックと[PgDn]が次頁へ、右ク リックと[PgUp]が前頁へです。

OyaziViewer1.2.3. zip を展開したフォルダ内の OyaziViewer. exe のWクリックで起動します。起動した窓の中に eiyogaku_shoshi. txt をD&Dし、表示>スタイルで一番下の[青空 縦 見開@MS明朝 12]を選び、設定>その他の設定で「背景画像を表示」のチェックを外すと図5の表示が得られます※(別の起動法については12の後半参照)。
※設定>色設定でボーダーの配色を「薄灰色」にしています。

縦書の本文に対し、表題は横書で画像の下に示されるため「紛らわしさ」は解消します。画像(含写真)を多用した電子書籍に適切な表示形式の一つと言えそうです。その他のスタイル・指定をあれこれ試していけば「納得できる表示」により接近できることでしょう。

さて、残る課題の「汎用性の確保・拡大」は、次節で紹介する方法 (これまで使ってこなかった XHTML ファイルに少し手を加えること)で 達成可能です。

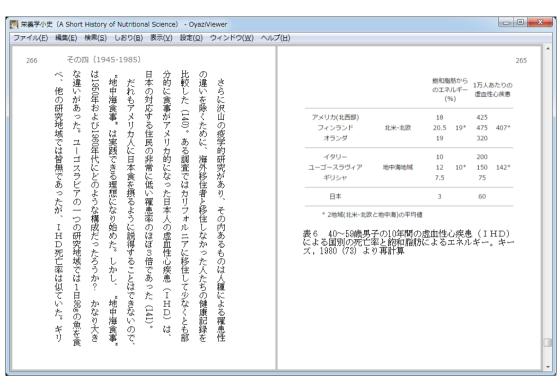


図5 様々な書式を指定できるポータブルツール OyaziViewer

PDF リーダーの使い方の要点: Kinoppy※ 【第11節の内容の補足資料】

- ※要インストールですが、Kinoppy は筆者が最も感心したリーダーのひとつです。
- ①07(p. 13)の3段落の操作(インポートなど)をPDFファイルについて行う。
- ②画面上部に頁とファイル名を含むバーがあったら[F11]※で「フルスクリーン」。
- ※画面左端にポインタを近づけると示されるメニューで[フルスクリーン](向き合った矢印のマーク)でもOK(以下「左端メニュー」↑)。ついでに[明るさの設定]で背景を選択。
- ③左端メニューの[スタイルの設定]で「ブック」を選択、[その他の設定]で「ダブルクリックで拡大する」を on(右側のマークのクリックで on⇔off)。
- ④[→]/[←](あるいは右/左頁クリック)で見開きのまま進む⇔戻る。
- ⑤[Ctrl]+[1]で左端メニューと下端メニュー(スクロールバーなど)の on⇔off。

06 XHTML ファイルでどこでも「縦書」閲読



これまでに紹介した tool 中、Windows, Mac, Linux の全てに対応し、かつ offline で閲読可能なのは 03 の③の AIR 草紙です。しかし、その使用にはインストール (複数) が必要で、また「無料版」の場合には $(txt/zip \ を除き)$ 閲読できる頁数に制限があります $(10\ 頁まで)$ 。

03 の②の Chrome 用拡張機能は最新の Chrome (ver. 56) には非対応のようで、筆者 (加藤) が試した限りでは動きませんでした (・・たぶん Chrome 側が進みすぎたのでしょう)。

極力「簡単」に OS(Windows, Mac, Linux, Android, iOS, etc.) 不問で『青空文庫』を縦書で楽しむベストな方法、それは「XHTML ファイルに"文字と行の示し方"を書き込んで、ブラウザで開くこと」です。

内容としては CSS (Cascading Style Sheets) の話ですが、具体的には以下の 3 ステップを行えば OKです。

- ①(02 の手順で)今度は 57318_58139. html をDLし、zip ファイルを 展開したフォルダに移動します※。
- ※この段階で html ファイルをWクリックすると、内容は「横書き&行間無 or 狭」の書式で開かれます。
- ②html ファイルをエディタ(例:メモ帳)で開き〈body〉※を探します。 ※<head>・・</head>のブロックの直後にあります。
- ③その〈body〉を以下の内容※に置き換えて別名(例:57318_58139: 栄養学小史縦書.html)で保存します(<mark>全角:</mark>はファイル名に使用可)。 〈body style="writing-mode:tb-rl;line-height:180%;"〉

※文字を Top to Bottom(上から下=縦書)&行を Right to Left(右から左)に示す。 改行は 1 行の 180%(\rightarrow 行間の空白= 1 行幅の 80%)。

保存した html ファイルをWクリック(あるいは右クリック>プログラムから開く>Chrome や IE…)で開いてみましょう。

Chrome (ver. 56. x) や IE (ver. 11. x) では、図 6 の表示が得られます (FF ver. 51. x では「左詰め」状態となり、末尾が表示されてしまいます)。

この方法であれば、指定に正しく対応するブラウザさえあれば PC・Mac、tablet、スマホ・のいずれでも縦書閲読が楽しめます。

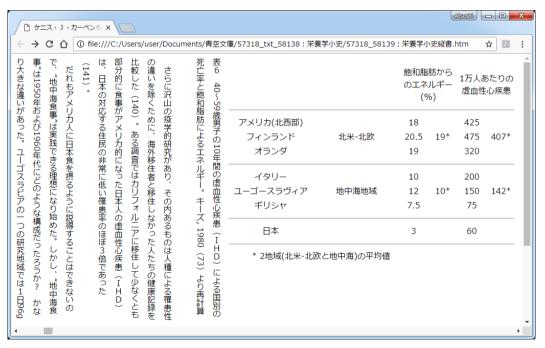


図6 Style を「縦書&行間広め」に指定した xhtml の Chrome による表示※ ※拡張子は htm でも0 K (←ファイル名が"8 文字.3 文字"だった頃のなごり)

07 様々な端末・方法で楽しむ『青空文庫』

電子書籍を楽しむ環境としては、PC など以外に Amazon の Kindle、楽天の Kobo といった専用端末があります。『青空文庫』の作品の大部分はこれらの専用端末用ストアでも(実は)「0円」で提供されており、無料でDLして専用端末や同等のリーダーで閲読可能です(図 7-1 参照)。

また、様々な端末に対応する ePub 用リーダー Kinoppy (紀伊国屋書店提供)は、ver. 3. 1. 0 (2017 年 2 月公開)で『青空文庫』の zip ファイルをそのまま閲読できるようになりました (pdf については 11 を参照)。 http://k-kinoppy.jp/

例えば PC 用 Kinoppy をインストールして起動すると「メイン本棚」の左に示される([インポート] >) [Dropbox/ローカルコンテンツ] から[ローカルファイルのインポート…]に進み、02 でD L した zip ファイル 57318_txt_58138 : 栄養学小史. zip を選択して[本棚に戻る]をクリックすると本棚に同ファイルが示され、クリックで閲読できます(図 7-2 参照)。

画面左端にポインタを近づけると示される [スタイルの設定] (本のマーク)をクリックし[ページめくり]で[ブック]を指定すると、04の TxtMiru2 に匹敵する「頁めくり」効果つきの見開き閲読が楽しめます。また、[その他の設定] (歯車のマーク)の[ダブルクリックで拡大する] も on (右側) にしておきましょう (拡大状態でWクリック→復元)。

さらに、『青空文庫』の作品を朗読で楽しめるサイトもあります。 2017 年 4 月の登録数は約 280 作品です。

http://aozoraroudoku.jp/



図 7-1 Kindle ストアで「青空文庫」を検索した結果の一例



図 7-2 Kinoppy は「青空文庫」の zip ファイルをインポート可能

08 『青空文庫』の書式で「本」を作成

これまで「読む」楽しみを取り上げてきましたが、「表現する」楽 しみも重要です。そこで「01 『青空文庫』再訪」を例として『青空 文庫』の書式で本を作成してみます。

テキストの空白や改行はそのまま表示に反映されます。また、「富田 | 倫生《みちお》さん」のように指定すると | 以降の文字にふりがな(ルビ)が振られます。

画像とその題目(キャプション)は以下のように指定します:

「#キャプション付きの図1 (01 栄養学小史.png) 入る]

[#キャプション] 図1 [青空 in Browsers]で開いた『栄養学小史』

※ 「#キャプション終わり]

ふりがな(ルビ)と画像及びその題目という最低限の指定を追加した テキストファイルを OyaziViewer で開くと、図8のような書籍らしい 表示が得られます※。

※スタイルは上から5番目の(Win 8.1 青空 横 見開 游明朝 12)

ただし、縦書/横書、文字の大きさなどのレイアウト(紙面割付け)の要素は閲読 tool の指定まかせ、URL も無効(=クリックしてもネットアクセスしない)になってしまいます※。

※有効・無効は閲読 tool によります(例: AIR 草紙なら有効)。

これでは、文字に加えて画像・図表・1ink(含 URL)なども多用しつ つレイアウトの再現を重視する「表現」の実現は困難です。

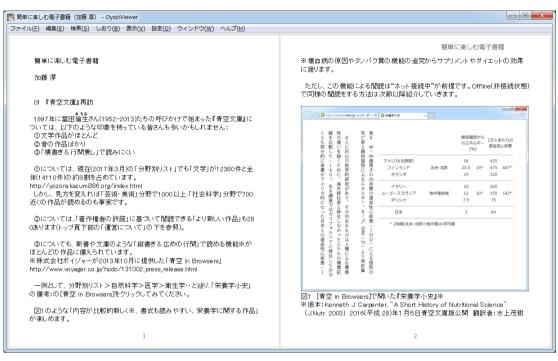


図8 『青空文庫』の書式で作成した「本」の例

PDF リーダーの使い方の要点: SumatraPDF 【第12節前半の内容の補足資料】

- ①exe ファイルのWクリック>[開く](あるいは[送る])で PDF ファイルを開く。
- ②上部にメニューがあったら[F11](か[Ctr1]+[Shift]+[L])で「全画面表示」※。
- ※「表示が細かすぎ」と感じたら[Ctrl]+[6](単一頁)>[Ctrl]+[2]で「全幅表示」し、 「↓]「↑]で内容を確認後に[Ctrl]+[0](全高表示)>[Ctrl]+[8](見開き)(⑤も参照)。
- ③[→]/[←]で見開きのまま進む⇔戻る。
- ④[Z]を押すごとに(あるいは[Ctrl]+[1]/[2]/[3]/[0]に応じて)表示切替。
- ⑤見開き各頁の「全幅表示」は[Ctrl]+[6](単一頁)>次頁なら[→]>[Ctrl]+[2]。 見開き表示への復帰は[Ctrl]+[0](全高表示)>[Ctrl]+[8](見開き表示)。

09 固定レイアウトの PDF で本を作成

自分が作るのであれば、納得できるレイアウトと機能を追求したいものです。同時に、より多様なハードウェア(PC, Mac, Tablet, etc.)上で読めることも重要でしょう。

レイアウトについては、『青空文庫』の書式に限らず、国際電子出版フォーラム(IDPF: International Digital Publishing Forum)が策定した ePub、アマゾンの azw などのファイル形式も、一頁あたりの文字数が変動するリフロー(流し込み)型である限り "不確定"です※。

※これまでの図でも同一内容が頁不同でした(例:03 では 139 頁、04 では 154 頁、05 では 265 頁・・)。

レイアウトが定まる(従って同じ内容は必ず同じ頁にある)ファイル 形式として最も普及しているのは PDF (Portable Document Format)でしょう。PDF であれば、対応するリーダーやブラウザがある限り、ハードウェア※を問わずほぼ同一の表示が得られます(加えて link も有効)。 ※azw 用リーダーの Kindle、ePub 用リーダーの Kobo なども含む。

他方、固定レイアウトの必然として、スマホなどの小画面ハードウェアでは頁全体の閲読は(文字などが小さくなるため)困難になります。

ここで「本としての現実的な最小頁サイズ」を考えてみると、図9に示したとおり「せめて文庫本(A6版)か新書版、できればA5版程度は欲しい」というのが筆者の判断です%。

※各判型の対角インチは、文庫本(105x148)が 7.14 inch、新書版(103x182)が 8.23 inch、A5 版が 10.11 inch(1 inch=25.4mm)。

A5版なら、10.1 inch 9ブレットで1 頁、14.3 inch PC で見開き 2 頁の原寸大表示が可能です。そこで、今回はファイル形式を PDF とし、判型がA5 版の本を作成してみます。

判型	寸法mm	本の種類	原紙 (1枚の原紙から取れるページ 数)
B4#IJ	257×364	大きな画集・グラフ雑誌など	B列本判(16)四六判(16)
A4‡IJ	210×297	写真集・美術全集など	A列本判(16) 菊判(16)
B5#IJ	182×257	週刊誌・一般雑誌など	B列本判(32)四六判(32)
A5#IJ	148×210	学術書·文芸雑誌·総合雑誌·教科書など	A列本判(32) 菊判(32)
B6#IJ	128×182	単行本など	B列本判(64)四六判(64)
A6‡IJ	105×148	文庫本	A列本判(64) 菊判(64)
菊判	150×220	単行本など	菊判(32)
四六判	127×188	単行本など	四六判(64)
AB‡IJ	210×257	大き目の雑誌など	AB判(32)
新書判	103×182	新書本・漫画の単行本など	B列本判(80)

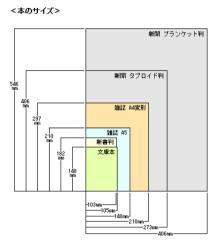
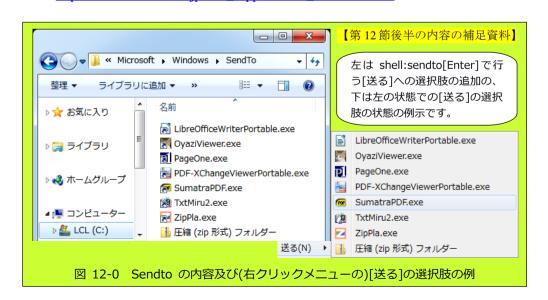


図9 判型・寸法と本の種類 - 印刷物のサイズのイメージ(株式会社第一印刷) https://daiichiinsatsu.co.jp/200 support/2313 booksize.html



10 ポータブルツールでも PDF 出力は可能



PC に 2007 以降の Word や互換 office がインストールされていれば、PDF 出力は標準機能で可能です。

http://freesoft-100.com/beginner/word-excel-to-pdf.html

https://support.kingsoft.jp/kso/pdf.html

Office がインストール済みならそれを使いましょう※。

※「楽な達成」は「ポータブルツールの使用」に優先します(笑)。

他方、ポータブルツールでも PDF 出力は可能です(例: 次行の頁の LibreOffice Portable ※)。

http://portableapps.com/apps/office/libreoffice_portable

※LibreOffice(Microsoft Office 互換でオープンソースの無償オフィス統合環境) のポータブル版

LibreOfficePortable_x. x. x_MultilingualStandard. paf. exe(今回は5.3.1で115MB)をDLし、Wクリックして1GB以上の空き容量のあるUSBメモリなどに展開します※。

※仏語/独語/韓国語/中国語などが不要なら途中の Remove Extra Languages をチェック。

作業中に「インストール」という表現が用いられますが、その実態は「圧縮ファイルの展開」です。メニューなどへの項目追加は無く、LibreOfficePortableフォルダが作られたUSBメモリを別のWindows PCに挿せばそこでの起動が可能(=ポータブル)、そして同フォルダを削除すれば削除完了です。

LibreOfficePortable フォルダの LibreOfficeWriterPortable. exe をWクリックして Writer を起動したら、書式>ページで用紙サイズを A 5 縦に指定し、内容の記述とフォント及び改行(範囲指定後に段落> 行間 一例:固定の 0.60cm) などの指定を行いましょう。図 10 のような ルビ付、1 ink 有効の文書が得られたらファイル>PDF としてエクスポート※を選べば PDF の出力ファイルが得られます。

※PDF オプションの初期表示で連続見開きが選べます。また、一部の互換 office とは異なり、https:の link も正しく設定されます(p.30 の囲み記事も参照)。

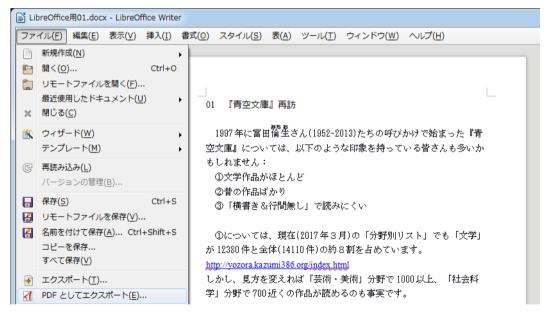


図 10 PDF 出力が可能なポータブルツールの一例: LibreOffice Portable

11 PDF の見開き閲読-1: Kinoppy



ほとんどの PC にインストール済みのはずの PDF 標準リーダー Adobe Acrobat Reader で表示>ページ表示>見開きページ表示と指定すると、見開き閲読が可能です。ただし、その状態でフルスクリーンモードを指定([Ctrl]+[L])すると[単一ページ表示]に戻ってしまいます。

PDFの単一頁閲読なら、リーダーを使わずとも Chrome, IE, FireFox といったブラウザへのD&Dでも可能であり、PDF リーダーにはより高度な機能を期待したいものです。

ちなみに、09 でも言及したように PDF の閲読は Kindle (azw 用リーダー)や Kinoppy (ePub 用リーダー)でも可能で、Kindle の場合、PC 用リーダーをインストールするとライブラリのドキュメントに作成される My Kindle Content というフォルダにコピーした PDF ファイルは Kindle のライブラリに表示され、Wクリックで閲読できます(図 11-1 参照)。 [F11]、(余白があったら)[Ctr1]+[1]/[2]/[0]などしてみましょう。 https://www.amazon.co.jp/kindle-dbs/fd/kcp

Kinoppy の場合、PC 用リーダーをインストールして起動すると「メイン本棚」の左に示される[Dropbox/ローカルコンテンツ]から[ローカルファイルのインポート…]に進み、閲読したい PDF ファイルを選択して[本棚に戻る]をクリックすると本棚に同ファイルが追加され、クリックで閲読できます(07 の第3・4段落及び図 11-2 参照)。

http://k-kinoppy.jp/

しかし、Kindle も Kinoppy も要インストールです※。PDF の見開き 閲読を実現できるポータブルツールは無いのでしょうか? ※p.10 下部の「PDF リーダーの要点: Kinoppy」も参照しましょう。

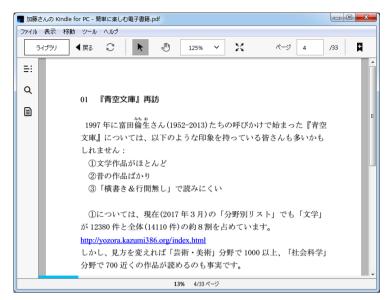


図 11-1 Kindle による PDF の表示(単一頁表示)



図 11-2 Kinoppy による PDF の表示(見開き表示)

12 PDF の見開き閲読-2: SumatraPDF



PDF をフルスクリーンで見開き閲読できるポータブルツールとしては SumatraPDF がオススメです。

https://www.sumatrapdfreader.org/free-pdf-reader.html

Krzysztof Kowalczyk さん作成の Windows 用 PDF リーダーで、軽量・高速・単一ファイル (SumatraPDF. exe) です。図 12 の状態で全画面表示を選択(あるいは[Ctr1]+[Shift]+[L]) すれば、見開き状態のまま全画面表示で閲読できます※(p. 16 下部の「PDF リーダーの要点: Sumatra PDF」も参照)。

※全画面表示状態で[Ctrl]+[1]/[2]/[3]を押すと「一部はみ出し」による一定の 拡大表示が可能([Ctrl]+[0]で元に戻る)。また[Z]キーを押すごとに表示切替。 ちなみに、SumatraPDF は ePub も開けます。

さて、これまでポータブルツールを「実行ファイル(.exe)本体のWクリックで起動>作品ファイルのD&D」という最も素朴な方法で利用してきました。しかし、Windows の場合、右クリックメニューの[送る]を活用すればより少ない操作での利用が可能です。

右クリックメニューの[送る]の選択肢としてツールを登録する方法 は以下の通りです(p.18下部の図12-0も参照):

- ①実行ファイル(例:xyz.exe)を右クリックしてショートカット (例:xyz.exe - ショートカット)を作成する。
- ②ショートカットをD&Dでデスクトップに移動し、名前中の不要部分(例: ショートカット)を削除する。
- ③エクスプローラを起動し、そのアドレス欄に shell:sendto と 入力の上[Enter]して[送る]の項目=選択肢を一覧表示する。
- ④②のショートカットを一覧表示の空白部分にD&Dすると [送り先]の選択肢に xyz. exe が追加される。

以上の登録が済んでいれば、例えば作品 abc. pdf をツール xyz. exe で開くには「abc. pdf を右クリック>[送る]の選択肢の一覧から xyz. exe (\leftarrow その実体はショートカット)を選択」でOKです。

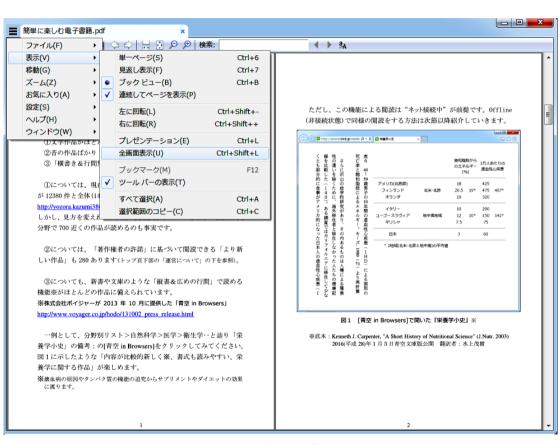


図 12 PDF の全画面見開き表示が可能なポータブルツール: SumatraPDF

13 「作品」のアップロード(UL)と紹介

「作品」ができたら、それを紹介して興味・関心のある皆さんに楽しんでもらいましょう。そのために必要なのは、ネット上の適切な場所へのファイルのアップロード(UL)とそれを閲読・DLできる link (=URL)の紹介です。

UL先は各自のサーバースペースがベストですが、それが無くても Google の Google Drive、Microsoft の OneDrive あたりなら当面「サービス終了」は無く、安心して使えそうです※。

※Gmail や hotmail/Outlook のアカウントを持っていれば、その address と password で利用可能です。

Google Drive+Windows PC の場合、次行の頁>[Google ドライブに アクセス]>ログイン操作>[マイドライブ]>[ファイルをアップロード]>ファイルを選択して[開く]でULが実行されます。

https://www.google.com/intl/ja/drive/

Microsoft OneDrive+Windows PC の場合、次行の頁>[サインイン] >ログイン操作>ドキュメント>ファイルをD&DでULが実行されます。

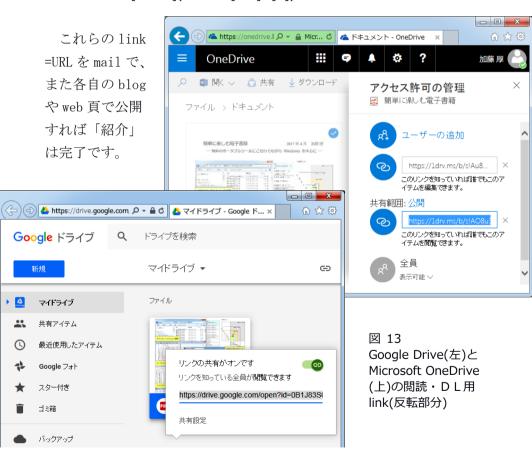
https://onedrive.live.com/about/ja-jp/

閲読・DL用の link は以下などの手順で確認・取得します:

Google Drive+Windows PC の場合、U L したファイルを右クリック > [共有可能なリンクを取得] > ポップアップの 3 行目の URL をクリック (\rightarrow 反転) して [Ctrl] + [C] でコピー>エディタを起動し [Ctrl] + [V] で paste。

Microsoft OneDrive+Windows PC の場合、U L されたファイルを左 クリック>右側の[アクセス許可の変更]を左クリック>上から 3番目の「このリンクを知っていれば(中略)閲覧できます。」の枠内の URL をクリック $(\to \nabla E)$ してコピー $(\to \nabla E)$ ンエディタを起動し[Ctr1]+[V]で paste。

※右クリック>[コピー](あるいは[Ctrl]+[C])



14 PDF の画像化と圧縮: PDF-XChange Viewer Portable



PDF の「レイアウトの再現」という長所(09 参照)を最大限追求したいなら「画像化」も選択肢の1つになりえます。

他方、画像化するとテキスト(文字)情報が失われるため、語句の検索や link(=URL)からのネットアクセスはできなくなり、またファイルサイズも PDF より大きくなってしまいます。

このように、PDFファイルの画像化は短所が多いため、それを自ら行う必要性は少ないことでしょう。しかし、画像を圧縮した書庫ファイルは、実際には多数存在します。従って、その仕組みと閲読方法に関する知識・技能の紹介には一定の価値がありそうです。

PDF の作品を画像化するポータブルツールとしては PDF-XChange Viewer Portable (Windows XP 以降で作動) がオススメです。 http://portableapps.com/apps/office/pdf-xchange-portable

Tracker Software Products という会社の製品(多機能 PDF viewer) の機能限定無料版のポータブル版で、D L した PDF-XChangeViewer-Portable_x. x. x. x. paf. exe(今回は 2.5.318.1 で 8 MB 弱)をWクリックして 100MB 程度以上の空き容量のある USB メモリなどに展開します※。 ※ 「インストール」の実態が「展開」なのは 10 の LibreOffice Portable と同様。

12 の後半で紹介した方法で[送る]の選択肢に PDF-XChangeViewer-Portable. exe を登録して PDF ファイルを送り、図 14 のように[イメージへエクスポート]を選択して①イメージの種類(例: JPEG/PNG)、②保存先のフォルダ(例:デスクトップの test)、③ファイル名(例:〈Page

Number〉)を指定して[エクスポート]をクリックすると、各頁の画像が連番をファイル名として②のフォルダに保存されます。

全頁の正しい画像化を確認したら、②のフォルダを右クリックして [送る]から[圧縮(zip 形式)フォルダー]を選択すれば、フォルダ名.zip の圧縮ファイルがデスクトップに作成されます。

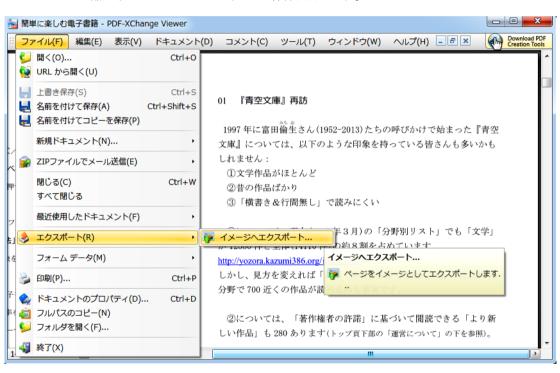


図 14 PDF の画像化が可能なツール: PDF-XChangeViewer Portable

15 画像を圧縮した書庫ファイルの閲読: ZipPla



「画像化した頁を圧縮した書庫ファイル」を閲読するポータブルツールとしては ZipPla がオススメです(無料で使用可)。

https://sites.google.com/site/riostoolbox/

http://www.vector.co.jp/soft/winnt/art/se513079.html

ZipPla は Rio's Toolbox さん作成の Windows 用書庫リーダーで、D L した ZipPla_x. x. x. x. zip(今回は 1. 6. 3. 8 で 2 MB 強)をWクリックして USB メモリなどに展開します。

[送る]の選択肢に ZipPla. exe を登録して zip ファイルを開き [F11] キーを押すと、全画面見開き表示に切り替わります (左綴じ/右綴じの切り替えは [L] / [R] キー、次/前頁は $[\rightarrow]$ / $[\leftarrow]$ など)。

このツールの最大の長所は[Z]キーによる見開き⇔拡大の表示切り替えです。見開きで全体の様子を把握し、「ここを拡大したい」という所で[Z]キーを押してみましょう。見開き表示を維持したまま、図 15の例なら右側の図 9 の細かい内容が明瞭に読める表示が得られます※。 ※拡大表示での画像移動はポインタの移動(スライド)で。

ZipPla は rar を含む多数の圧縮形式に対応しているので、zip 以外の書庫ファイルもとまどうことなく楽しめます。

さて、今回の紹介は以上です。内容がWindows 用の無料ポータブルツール中心だったのは、それが筆者の主な経験領域であり、より確実な情報提供ができると思われたからです。その偏りを意識しつつ、この領域について、また他の領域について一層詳しい皆さんからの補足・補完を期待してこの冊子の結びとします。



図 15 画像圧縮書庫ファイルの柔軟な閲読が可能なツール: ZipPla

PDF 出力で link が正しく設定されない場合には…

PDF 出力で、http は OK でも https の link が正しく設定されないといった場合には、CubePDF※の使用がオススメです。 ※要インストールですが画像(png など)としての出力も可能。



http://www.cube-soft.jp/cubepdf/